

赤平市が管理する橋梁点検結果の公表について

1. 背景

赤平市が管理する橋梁は、BOXカルバートを含め現在44橋あり、その大半は高度経済成長期（1955年～1973年）以降に建設されてきたものとなっています。

このうち、建設後50年を経過する高齢化した橋梁数の割合は、現在では全体の約7%程度に過ぎませんが、20年後にはこの割合が約57%と全体の半分以上を占め、高齢化した橋梁が急速に増大し、今後、老朽化した橋梁の修繕・架替えに要する経費も増大することが予想されます。

このことから、橋梁の計画的な修繕対策を行い、可能な限りのコスト縮減への取り組みが不可欠となります。

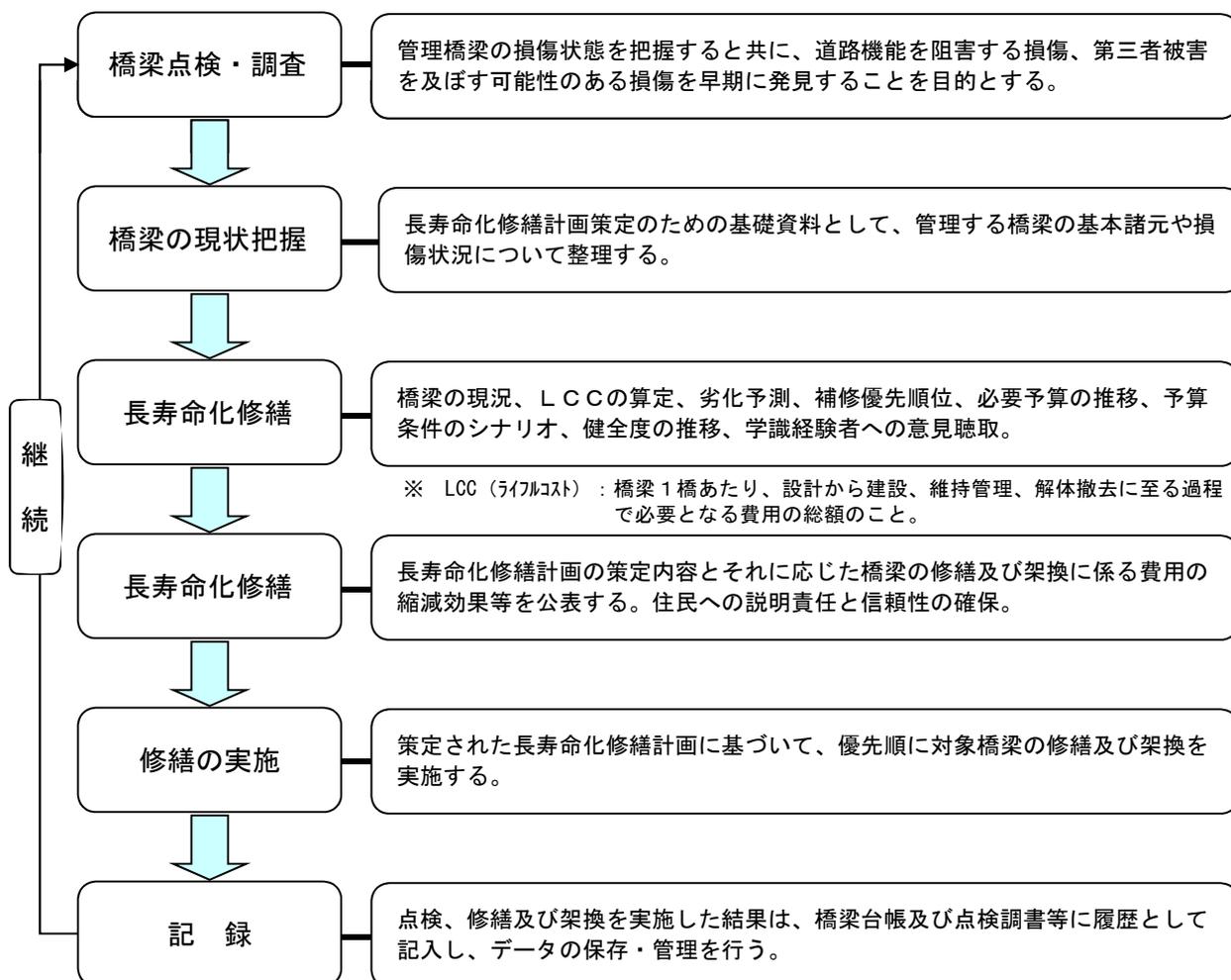
2. 目的

道路交通の安全性を確保する上で、これまでの事後保全的な対応から計画的かつ予防的な対応に転換し、橋梁の長寿命化によるコスト縮減を図るため、長寿命化修繕計画策定事業費補助制度を活用して、橋梁点検を実施し、橋梁の健全度を把握し、橋梁長寿命化修繕計画を策定します。

3. 橋梁点検結果

赤平市で管理する橋梁44橋のうち、平成23年度（2011年）に44橋の点検を行っています。今回点検した橋梁について、通行止め及び交通規制等の緊急対策を要する橋梁はありませんでした。

4. 概要



5. 橋梁点検リスト

通番	橋梁番号	橋梁名	路線名	橋長(m)	橋梁種別	架設年次	供用年数	備考
1	0001	豊橋	豊通	174.90	鋼橋	S41 1966	46	
2	0002	吉の川3号橋	豊通	3.50	BOX	S47 1972	40	
3	0003	富士の川橋	右岸通	4.10	BOX	S43 1968	44	
4	0004	滝の川橋	右岸通	10.30	PC	S44 1969	43	
5	0005	幌倉橋	共和本通	32.70	PC	H11 1999	13	
6	0006	表橋	境通	9.65	PC	S45 1970	42	
7	0008	吉見橋	住吉本通	15.20	鋼橋	S57 1982	30	
8	0009	住吉橋	住吉東通	29.30	RC	S20 1945	67	
9	0014	宮崎橋	宮崎通	17.66	PC	H08 1996	16	
10	0015	平班橋	福住平岸線	134.00	鋼橋	H19 2007	5	
11	0016	野口橋	野口通	3.47	BOX	S58 1983	29	
12	0017	幌倉渡船場橋	幌倉渡船場通	32.30	PC	H08 1996	16	
13	0018	幌岡通学橋	幌岡通学線	31.30	PC	H13 2001	11	
14	0019	内左の沢1号橋	右奈江沢線	6.10	RC	S46 1971	41	
15	0020	奈江沢2号橋	右奈江沢線	6.34	PC	S30 1955	57	
16	0021	宮居橋	住吉西通	17.30	BOX	H08 1996	16	
17	0022	福栄橋	住吉仲通	15.48	PC	H01 1989	23	
18	0023	大谷沢1号橋	大谷沢線	18.86	PC	H09 1997	15	
19	0024	大谷沢2号橋	大谷沢線	8.40	PC	S41 1966	46	
20	0025	神社橋	共和神社通	34.80	PC	H11 1999	13	
21	0026	右奈江沢1号橋	中奈江沢線	16.67	PC	S63 1988	24	
22	0027	右奈江沢2号橋	中奈江沢線	5.50	RC	S45 1970	42	
23	0028	緑橋	文京学園通	5.10	PC	S38 1963	49	
24	0029	吉の川4号橋	北文本通	2.60	BOX	S50 1975	37	
25	0030	緑ヶ丘橋	豊丘本通	2.50	BOX	S44 1969	43	
26	0031	吉の川橋	東文2丁目通	3.60	BOX	S45 1970	42	
27	0032	文京1号橋	東文3丁目通	3.65	BOX	S46 1971	41	
28	0033	保育橋	文京会館通	7.20	鋼橋	S51 1976	36	
29	0034	弥栄橋	弥栄仲通	2.90	PC	S56 1981	31	
30	0035	五条橋	茂尻仲通	2.40	BOX	S53 1978	34	
31	0036	左大谷沢1号橋	左大谷沢線	8.40	PC	S39 1964	48	
32	0037	左大谷沢2号橋	左大谷沢線	8.40	PC	S38 1963	49	
33	0038	左大谷沢3号橋	左大谷沢線	7.25	鋼橋	S54 1979	33	
34	0039	左大谷沢4号橋	左大谷沢線	8.45	PC	S38 1963	49	
35	0040	左大谷沢5号橋	左大谷沢線	5.92	鋼橋	S36 1961	51	
36	0041	西坂橋	平岸南西新線	13.42	鋼橋	S51 1976	36	
37	0042	新成大橋	新成大橋通	430.20	PC	H04 1992	20	
38	0043	滝の川2号橋	共和本通	22.78	PC	H01 1989	23	
39	0044	赤間の沢橋	百戸本通	14.70	PC	S60 1985	27	
40	0045	エルム高原1号橋 桂橋	基線	26.70	PC	H16 2004	8	
41	0046	エルム高原2号橋 辛夷橋	基線	25.60	鋼橋	H16 2004	8	
42	0047	エルム高原3号橋 白樺橋	基線	40.00	鋼橋	H16 2004	8	
43	0048	エルム高原4号橋 桜橋	基線	30.00	鋼橋	H16 2004	8	
44	0049	エルム高原5号橋 楓橋	基線	32.70	鋼橋	H16 2004	8	

6. 損傷の評価

①腐食

評価の目安				区分
錆の有無	錆の深さ		錆の広がり	
なし	-		-	a
あり	表面のみ	-	局部的	b
			広範囲	c
	板厚減少、鋼材表面の著しい膨張	-	局部的	d
			広範囲	e

②亀裂

評価の目安	区分
損傷なし 塗膜割れ程度（長さが短く、錆が出ていない）	無
明らかな亀裂を生じている 亀裂の疑いのある塗膜割れが生じている（長さが長く錆が出ている）	有

③ボルトの脱落

評価の目安	区分
損傷なし	無
ボルトの脱落がある（本数の多寡によらない）	有

④破断

評価の目安	区分
損傷なし	無
破断している（部材がつながっている場合は亀裂）	有

⑤ひびわれ・漏水・遊離石灰

評価の目安				区分
ひびわれの有無	ひびわれ位置	ひびわれ幅	漏水・遊離石灰	
なし	-	-	-	a
あり	構造物に及ぼす影響が大きいひびわれ	0.2mm未満（小）	有無を問わない	c
			ひびわれのみ	c
		0.2mm以上（大）	漏水のみ	d
			軽微な遊離石灰	d
	上記以外（影響が小さい）	0.2mm未満（小）	著しい遊離石灰・錆汁	e
			有無を問わない	b
		0.2mm以上（大）	ひびわれのみ	b
			漏水のみ	c
		軽微な遊離石灰	c	
		著しい遊離石灰・錆汁	d	

⑥鉄筋露出

評価の目安			区分
鉄筋露出の有無	腐食の広がり	腐食の程度	
なし	-	-	
あり	部分的	表面のみ	無
		鋼材断面の減少、鋼材の著しい膨張	
	広範囲	表面のみ	
		鋼材断面の減少、鋼材の著しい膨張	

⑦抜け落ち

評価の目安	区分
損傷なし	無
コンクリート塊の抜け落ちがある	有

⑧床版ひびわれ

評価の目安	区分
ひびわれは発生していないか、幅の小さい（0.2mm未満）ひびわれで、ひびわれ間隔は1.0m程度と非常に離れている状態。 漏水跡・遊離石灰は確認できない。	a
幅の小さい（0.2mm未満）一方向のひびわれが主であり、ひびわれ間隔が0.5m程度と比較的大きい状態。 漏水跡・遊離石灰は確認できない。	b
0.2mm程度の格子状のひびわれが発生している状態で漏水跡・遊離石灰は確認できない。 または、一方向ひびわれであるが、漏水跡・遊離石灰が確認できる状態。	c
0.2mm程度の格子状のひびわれが発生しており漏水跡・遊離石灰は確認できる状態。 または、0.2mm以上のひびわれが目立ち、部分的な角落ちが見られるが漏水跡・遊離石灰は確認できない状態。	d
連続的な角落ちが見られ、漏水跡・遊離石灰が確認できる状態。	e

⑨PC定着部の異常

評 価 の 目 安		区分
損傷なし		無
PCケーブル定着部の損傷（程度によらない）		有
PCケーブルの損傷		有

⑩路面の凹凸

評 価 の 目 安		区分
損傷なし		無
20mm程度未満（走行に支障がない程度）の段差がある		無
20mm程度以上（走行に支障があり明らかな分かる程度）の段差がある		有

⑪支承の機能障害

評 価 の 目 安		区分
損傷なし		無
支承の機能が損なわれている		有
支承の機能が著しく阻害されている		有

⑫下部工の変状

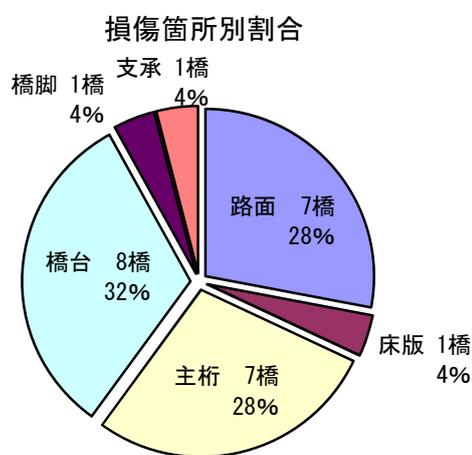
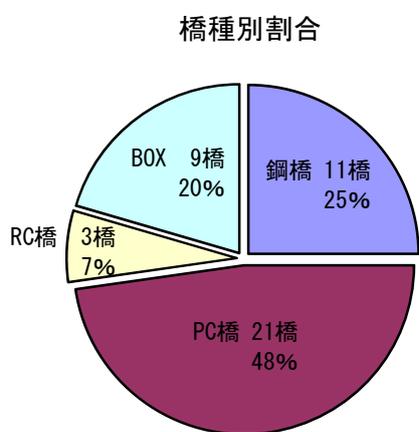
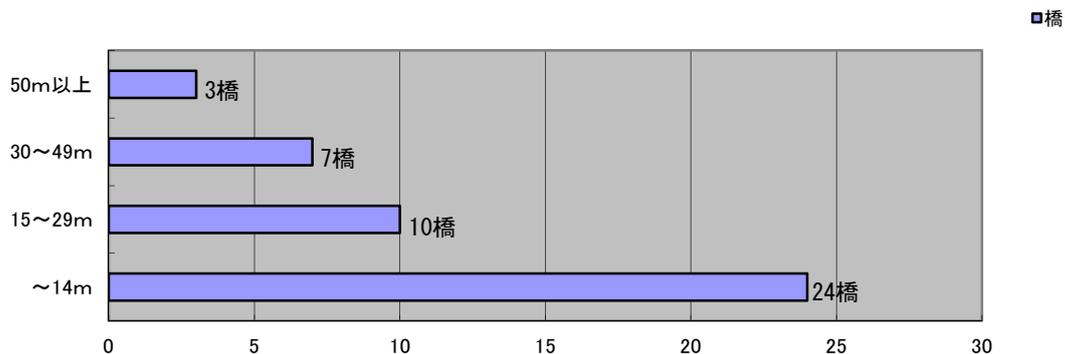
評 価 の 目 安		区分
沈下・移動・傾斜	腐食の程度	
沈下・移動・傾斜のいずれもない	洗掘はない	無
	軽微な洗掘がある	
	著しく洗掘されている	
沈下・移動・傾斜のいずれかが有る	洗掘はない	有
	軽微な洗掘がある	
	著しく洗掘されている	

7. 橋梁点検結果一覧表

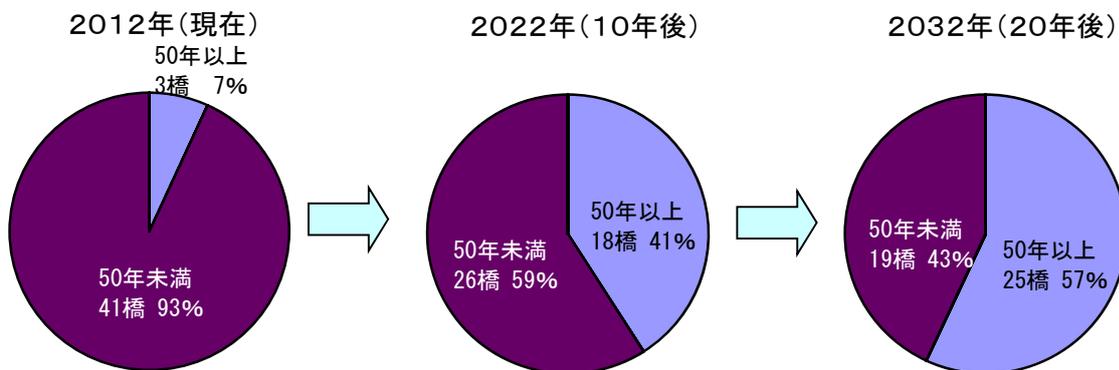
番号	橋梁名	鋼部材の損傷				コンクリート部材の損傷					その他		
		① 腐食	② 亀裂	③ ボルトの脱落	④ 破断	⑤ ひびわれ・漏水・遊離石灰	⑥ 鉄筋露出	⑦ 抜け落ち	⑧ 床版ひびわれ	⑨ PC定着部の異常	⑩ 路面の凹凸	⑪ 支承の機能障害	⑫ 下部工の変状
1	豊橋(車道)	c	無	無	無	a~d	無	無	a~c	無	有	無	無
1	豊橋(右歩道)	a~b	無	無	無	a~d	無	無	a~c	無	有	無	無
1	豊橋(左歩道)	a~b	無	無	無	a~c	無	無	a~c	無	有	無	無
2	吉の川3号橋					a	無			無	無		無
3	富士の川橋					a~d	無			無	無		無
4	滝の川橋					a	無	無	c	無	無	無	無
5	幌倉橋					b~c	無			無	無	無	無
6	表橋					d	無	無	c	無	無	無	無
7	吉見橋	a	無	無	無	b~d	無	無	a~b	無	有	有	無
8	住吉橋					c~d	無			無	無		無
9	宮崎橋					a	無	無	a	無	無	無	無
10	平班橋	a	無	無	無	c	無	無	c	無	無	無	無
11	野口橋					d	無			無	無		無
12	幌倉渡船場橋					b~c	無			無	無	無	無
13	幌岡通学橋					b~c	無			無	無	無	無
14	内左の沢1号橋					a	無	無	c~d	無	無	無	無
15	奈江沢2号橋					a~c	無	無	a~c	無	無	無	無
16	宮居橋					a	無			無	無		無
17	福栄橋					c~d	無	無	c	無	無	無	無
18	大谷沢1号橋					a~d	無	無	a~c	無	無	無	無
19	大谷沢2号橋					a~d	無	無	a~d	無	無	無	無
20	神社橋					a	無	無	a	無	無	無	無
21	右奈江沢1号橋					a	無	無	a	無	無	無	無
22	右奈江沢2号橋					c~d	無			無	無	無	無
23	緑橋					a~d	無	無	a	無	有	無	無
24	吉の川4号橋					a	無			無	無		無
25	緑ヶ丘橋					c	無			無	無		無
26	吉の川橋					a	無			無	無		無
27	文京1号橋					c~d	無			無	無		無
28	保育橋	a~c	無	無	無	a	無			無	無	無	無
29	弥栄橋					a	無	無	a	無	有	無	無
30	五条橋					a	無			無	無		無
31	左大谷沢1号橋					a~d	無	無	a~c	無	無	無	無
32	左大谷沢2号橋					a~d	無	無	a	無	無	無	無
33	左大谷沢3号橋	a~c	無	無	無	a	無	無	a	無	無	無	無
34	左大谷沢4号橋					a~d	無	無	a~d	無	無	無	無
35	左大谷沢5号橋	a~c	無	無	無	a	無	無	a	無	無	無	無
36	西坂橋	a~b	無	無	無	a	無	無	a	無	無	無	無
37	新成大橋	a	無	無	無	a~d	無	無		無	有	無	無
38	滝の川2号橋					a~b	無	無	a	無	有	無	無
39	赤間の沢橋					a~d	無	無	a~c	無	無	無	無
40	IIL高原1号橋 桂橋					c	無			無	有	無	無
41	IIL高原2号橋 辛夷橋	a	無	無	無	c	無	無	a~c	無	有	無	無
42	IIL高原3号橋 白樺橋	a~b	無	無	無	c~d	無	無	a	無	有	無	無
43	IIL高原4号橋 桜橋	a	無	無	無	c	無	無	a~c	無	無	無	無
44	IIL高原5号橋 楓橋	a	無	無	無	d	無	無	a~c	無	有	無	無

8. 橋梁の現状

(1) 平成23年度に実施した橋梁44橋の概要



(2) 建設後50年以上の橋梁数の推移



9. 今後の予定

平成24年度（2012年）には、橋梁点検結果を基礎資料として、全橋梁を対象に長寿命化修繕計画の策定を行う予定です。

平成25年度以降につきましては、橋梁長寿命化修繕計画に基づいて、橋梁の損傷箇所の修繕及び架換等を随時行う予定です。

また、路面段差等の軽微な損傷箇所については、その都度修繕していく予定です。

橋梁長寿命化修繕計画の流れ

赤平市 管理橋梁 (総数)	H23年度 (2011年)	H24年度 (2012年)	H25年度以降
44 橋	橋梁点検 44 橋	長寿命化修繕計画策定	修繕及び架換（予定）

赤平市の橋梁長寿命化修繕計画に関する問い合わせ先

建設課 土木係

TEL : 0125-32-1821

FAX : 0125-32-5033

E-mail : doboku@city.akabira.hokkaido.jp